

一般社団法人日本能率協会  
 KAIKA センター

## 世界における日本の“ものづくり”競争力強化に向け

### 「仕様書」「規格書」「マニュアル」など高難度な技術英語の翻訳に特化した

## 「JMA 技術英語翻訳」開始

### ～英語の頂点を極める工業英検 1 級取得者による新サービス～

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、小会のグループ団体である公益社団法人日本工業英語協会（JSTC、会長：斎藤恭一）と連携し、高難度な技術英語に特化した翻訳サービスを行う「JMA 技術英語翻訳」を 2016 年 9 月 5 日に開始します。

本事業では、日本工業英語協会が組織化する工業英語能力検定試験 1 級取得者や、その中の成績優秀者に授与される文部科学大臣賞を受賞した専門家らにより、日本語から英語、英語から日本語への「翻訳」、社内で英語にした文章のクオリティを上げる「校正」の他、技術英語の翻訳者や社内翻訳者向けセミナー講師の派遣など、各種ソリューションサービスを行います。

工場の海外移転をはじめ、ものづくりの現場でグローバル化が進む中、「英語」は世界共通のビジネスツールとしてますます重要になっています。

特に製品の仕様書やマニュアル、特許、契約書類などを扱う場合、小さな誤解が大きな損失につながることもあり、いかに“正確・明確・簡潔”な英語で伝えるかがポイントになります。しかしながら、こうした技術英語の分野でクオリティの高い翻訳ができる人材は、一般のビジネス英語と異なり多くないのが現状です。

技術英語の専門家集団を有する日本工業英語協会と、1942 年より一貫して産業界やものづくり企業の支援を行っている日本能率協会が連携し、クオリティの高い技術英語翻訳サービスを提供することで、中小企業から大企業まで、日本のものづくり企業を技術英語の側面から支援していきます。

#### ■工業英語能力検定試験 1 級とは

1981 年から公益社団法人日本工業英語協会が実施している、科学技術文書を正しく書き、正しく読む能力を客観的に評価する我が国唯一の資格検定です。1 級は特に難易度が高く、合格率は 5～6% 程度。国内最難関の英語の資格のひとつと言われています。

	対象レベル	累計合格者数※
工業英検 1 級	作成した技術ドキュメントは、商品として使用できる。プロの翻訳者、社会人が対象。	1 級 (527 人)
工業英検 2 級	基礎的な技術英文が書け、読める。実務に携わる企業人が対象。	2 級 (8,901 人)
工業英検 準 2 級	自分の専門分野の英語がほぼ正確に読める。大学・大学院専門課程、高専上級学年・専攻科が対象。	準 2 級 (704 人)
工業英検 3 級	基礎的な技術英文が書け、読める。工業高等専門学校生、工業系専門学校、大学生が対象。	3 級 (39,580 人)
工業英検 4 級	工業英語の頻出する基礎単語が理解できる。工業高校生が対象。	4 級 (90,938 人)

※1981 年からの累計人数。ただし準 2 級は 2014 年 7 月に開始してからの累計。

## ■概要

名称：JMA 技術英語翻訳

翻訳分野：技術英語の専門知識を必要とする主に下記の分野

自動車、電気・エレクトロニクス、機械、素材・化学、土木、建築、医療、物流、通信、情報、IT など

翻訳対象：マニュアル、仕様書、規格書、特許、技術資料、契約書、監査書類、など。

翻訳者：工業英語能力検定試験 1 級取得者

依頼方法：日本能率協会ホームページ (<http://www.jma.or.jp/jmat/>) まで

価格：依頼内容に基づいて別途見積（定価の設定はありません）

## ■サービス概要

### 1. 翻訳

日本語から英語、英語から日本語への「質」を最重視した翻訳サービスを提供します。

### 2. 校正

お客様企業が作成した英文や、他の翻訳会社に依頼した英文を、より正しく伝わる英文に修正します。

### 3. ソリューション

お客様企業の技術英語に関する課題に合わせて、課題解決の具体策を提案・提供します。

例えば、技術英語の基礎を社員に身につけさせたい場合、貴社に講師を派遣して技術英語セミナーを開催するといったことが可能です。

## ■技術英語とは

主に製造業で仕様書、規格書などに使われる専門的な英語を指します。日本人向けに作った文章をそのまま英語に直訳しても海外の人には理解出来なかったり、正確な技術英語でなかったことが原因の一つで、国際的な申請が通らなかったり、入札に敗れたりすることがあります。製造業の海外展開が進む中、技術英語は事業を進める上で不可欠な言語スキルと言えます。

## ■公益社団法人日本工業英語協会

公益社団法人日本工業英語協会は、1980年に日本能率協会（JMA）グループの一員として設立、正しい技術英語を普及するための中心的な役割を担っています。科学技術文書を正しく書き、正確に読む能力を客観的に評価する我が国唯一の文部科学省後援の公的資格である「工業英検」を組織的に推進することを使命とし、そのために必要な教育・啓発活動も実施しています。

### 【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 KAIKA センター

担当：小亦（こまた）、倉品（くらしな）、武智（たけち）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14 階

TEL:03-3434-0380 E-mail:jmat@jma.or.jp

※取材の問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします。